

令和6年度 江別市スポーツ推進計画（第7期）推進状況報告書

計画期間	令和 6 年度～ 令和 10 年度
------	-------------------

基本方針：

- 1 いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも自発的にスポーツに親しみ、心身ともに健康で、明るく、こころ豊かに暮らせるよう、全ての市民がスポーツ活動を通じ、健康づくりや運動習慣の実践、その定着化を目指す。
- 2 スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」、「しる」ことで、市民が「楽しさ」、「喜び」を実感し、社会との絆や関わりを深め、共生社会の実現や新たなまちづくりに活かす取組に参画することを目指す。
- 3 スポーツの価値や力を活かし、更なる市民スポーツ活動の活性化を図る。

市民が生涯にわたってスポーツを気軽に行える場を提供し、心身ともに健やかで充実した生活を営めるよう、3つの基本目標に基づき計画を推進しています。

基本目標Ⅰ：生涯スポーツの推進

【基本目標Ⅰで目指すこと】

生涯、だれもがスポーツを楽しむための「する」機会を提供するため、発達段階やライフスタイルに応じた多様な参加機会の拡充を図ります。

また、スポーツに関心を持つきっかけづくりとして、スポーツイベントの開催、デジタル技術の活用、トップアスリートとの交流等を通じて、スポーツを「みる」、「しる」機会を提供します。

さらに、スポーツによる健康づくりを推進するため、保健・福祉機関等と連携し、情報提供や相談体制の充実を図るなど、健康づくりの面からスポーツを推進します。

◆成果指標1 週1回以上スポーツ活動に親しむ市民割合

現状値（R4年度）	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	目標値（R10年度）
44.2%	45.0%					↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

■前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性

- ・令和6年度は、生涯各期におけるスポーツ活動の機会提供と充実として、各種スポーツ教室を開催し、各年齢層別のメニューを提供しました。スポーツ教室はメニューの見直しなどを行い、より参加しやすい教室になるよう工夫しています。
- ・トップアスリートとの交流については、レバンガ北海道、北海道イエロースターズなどのプロスポーツ団体と連携し、市内の小中学生を対象にスポーツ教室を開催しました。
- ・週1回以上スポーツ活動に親しむ市民割合は45.0%となっており、スポーツを行うことへの意識が増加傾向にあると見受けられます。
- ・今後もスポーツ活動に親しむ市民割合の上昇を目指し、多くの市民がスポーツ活動に親しむことができるよう、市民ニーズを的確に把握し、関係機関と連携して魅力ある事業の提供に努めていきます。

基本目標Ⅱ：地域スポーツ活動の推進

【基本目標Ⅱで目指すこと】

市内のスポーツ団体を統括する組織の活動に協力し、市民が継続的にスポーツができる環境を整備し、地域スポーツを「ささえる」人材の育成・資質向上を図るとともに、地域スポーツ活動を支える保護者や地域住民がスポーツ活動に対する理解を深められるようスポーツに関する情報を提供します。

また、住民が主体的に参画する総合型地域スポーツクラブに対して広報活動等の支援を行うとともに、地域スポーツ団体が身近な地域でスポーツをするための活動場所の提供を行うなど、地域スポーツ環境の充実を図ります。

◆成果指標2 スポーツ機会が充足していると思う市民割合

現状値（R4年度）	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	目標値（R10年度）
63.8%	69.0%					↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

■前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性

- 令和6年度は、地域スポーツ活動の活性化のため、スポーツ協会やスポーツ少年団の活動に対する支援のほか、スポーツ推進委員を派遣して軽スポーツの指導・普及を行う軽スポーツ出前事業を実施し、気軽にスポーツに親しめる機会を提供しました。
- 小中学生の体育施設の個人使用料の無料化を実施したことでの、施設の利用者数が増加しました。
- 各スポーツ団体やスポーツ少年団は少子高齢化の影響がある中、会員数は減少傾向が見られますが、多くの団体が全国・全道大会に出場するなど活発に活動しています。
- スポーツ活動の場所の確保については、学校の体育施設を開放し、身近な地域において活動ができるよう支援を行っています。
- スポーツ機会が充足していると思う市民割合は69.0%となっており、現状値を上回る結果となりました。
- 各団体の活性化のため、スポーツ協会やスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等に対し、指導者育成等の支援や情報提供等の取組を継続して行い、地域スポーツ活動の推進を図っていきます。

基本目標Ⅲ：スポーツ施設の整備・充実

【基本目標Ⅲで目指すこと】

市民要望を踏まえ、安全で快適なスポーツ施設の維持整備を計画的に進め、指定管理者制度により施設の管理を行っている団体と連携を図り、市民や利用者からの要望・意見を参考にし、適切な施設の管理運営を進めていきます。

学校施設や民間等の施設と連携し、スポーツ施設の有効活用を図ります。

◆成果指標3 スポーツ施設整備の満足度

現状値（R4年度）	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	目標値（R10年度）
59.6%	66.2%					↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

■前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性

- 令和6年度は、市民体育館の管理棟外部等の改修工事や東野幌体育館の体育室床改修工事を行い、スポーツ施設の環境整備に努めました。
- 市内の屋内体育施設は建築から40年以上経過したものが多いことから、老朽化対策として安全に配慮した改修整備を進めており、スポーツ施設整備の満足度は66.2%と現状値を上回る結果となりました。
- 令和7年度も引き続き市内体育施設の改修整備を行い、安全で快適に利用できるスポーツ環境づくりを進めるとともに、指定管理者と連携して利用しやすい施設運営と適切な管理を行います。